

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
介護福祉		必修 (社) 選択 (理.作.精.心)	2	2.3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
梅沢 佳裕	B310	y.umezawa		水曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;ソーシャルワーク専門職として近接する介護福祉分野の学習を通じて、高齢者の介護制度の理解と福祉・介護需要や介護の基本的な理念等について理解することを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt;介護保険制度の理念や仕組み、手続き等を説明し、介護保険の介護サービスの内容や役割について講義する。また高齢者介護の事例等を紹介しながら介護の概念、理念や介護過程に基づく介護実践、介護予防の基本的な考え方について同時双方向型授業を通じて教科書・添付資料をもとに学習し、その後フィードバックを行い本講の要点となる内容の理解を深める。</p>				
学習上の助言	介護福祉をしっかりと理解するためには、事前に教科書を精読し、講義の前週に配布する予習復習プリントに沿って、専門用語や内容について下調べを行ったうえで講義を受けることが望ましい。				
教科書	新・社会福祉士養成講座 13 高齢者に対する支援と介護保険制度 第 6 版/編：社会福祉士養成講座編集委員会/中央法規出版。必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	授業内で指示する				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	介護の概念、理念等を理解することができる。		HSU(1)、WP(1)、WP(2)		
②	介護サービスの体系、特性を理解し、説明することができる。		HSU(3)、WP(1)、WP(2)		
③	介護保険制度の仕組み、サービス利用の流れ等を理解し、説明することができる。		WP(1)、WP(2)		
④	介護の実態や介護体験等を通して利用者の立場が理解できる。		WP(1)、WP(2)		
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (本科目の意義、受講時の約束、講義の進め方、成績評価、他) を行う。	同時双方向型授業	シラバスを読んで全体像を把握してくる。	4	
2	高齢者の特性について学習する。	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習・復習を行う。	4	
3	介護の概念や対象について学習する。	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習・復習を行う。	4	
4	介護保険制度の仕組み①について学習する。	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習・復習を行う。	4	
5	介護保険制度の仕組み②について学習する。	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習・復習を行う。	4	
6	介護過程について学習する。	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習・復習を行う。	4	
7	介護各論 (自立に向けた介護・自立支援) について学習する。	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習・復習を行う。	4	
8	介護各論 (基本的な介護技術) について学習する。	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習・復習を行う。	4	
9	介護各論 (認知症ケア) について学習する。	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習・復習を行う。	4	
10	介護各論 (終末期ケア) について学習する。	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習・復習を行う。	4	
11	介護各論 (住環境) について学習する。	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習・復習を行う。	4	
12	高齢者支援の方法と実際①について学習する。	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習・復習を行う。	4	
13	高齢者支援の方法と実際②について学習する。	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習・復習を行う。	4	
14	高齢者を支援する専門職の役割と実際について学習する。	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習・復習を行う。	4	
15	介護福祉の総括を行う。	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習・復習を行う。	4	
試	定期試験を実施する。 達成度評価・評価のポイントを参照。				

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		70	0	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	10	60
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	期末試験を実施する。期末試験では、①～④について、知識の観点から正誤を判断する問題を出題する。出題方法として、○×式、並びに記述式の問題を出題する。なお、記述式問題では、①～④に関する達成度も総合的に判断できるような出題を行う。				試験の答案用紙は返却しないが、模範解答及び全体の得点分布等の評価結果を公表する。なお、希望者には採点した結果を解説する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業終了時に記載してもらおう Teams へのチャット機能を使用した投稿をリアクションペーパーに代替し評価する。				前回のチャット投稿を使い振り返りを実施する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p><b>実践的授業の内容：</b>授業では教科書に記載されている一般的事項を教えつつ、社会福祉士としての教員自身の実例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。</p> <p>*Teams を使用した同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨します。</p> <p>*今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更があり得ます。</p>							